

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 10日

千葉県知事
熊谷 俊 人 殿

提出者

住 所 千葉県印西市原1-1-5

氏 名 竹内建設株式会社

代表取締役 竹内 義政

電話番号 0476-40-0033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

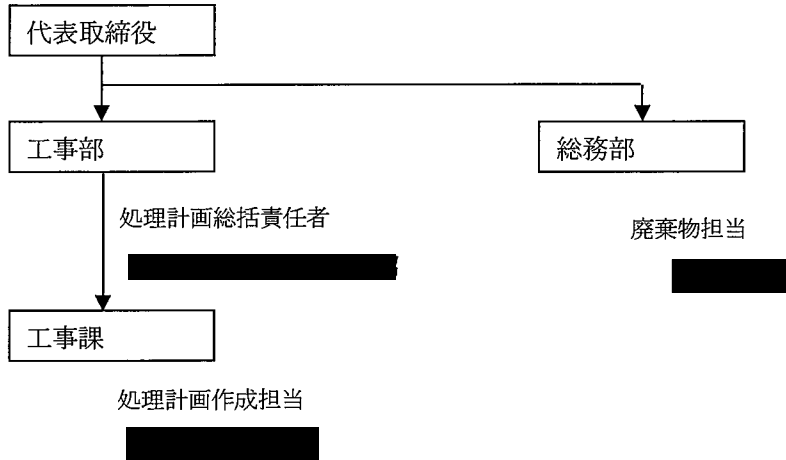
事業場の名称	竹内建設株式会社
事業場の所在地	千葉県印西市原1-1-5
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 22.5億円
③ 従業員数	45人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事入札・受注 ↓ 工事実施工程 コンクリート塊 アスファルト塊 廃プラスチック 建設発生木材 その他※ 委託処理 (再生利用業者で処理) 委託処理 中間処理 委託処理 最終処分 ※その他がれき、廃石膏ボード 紙くず、汚泥など



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙-産業廃棄物処理計画書(令和6年度)

産業廃棄物の種類		コンクリート塊	木くず	アスファルト塊	その他がれき	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	ガラス・陶磁器くず	水 銀	特別管理型 石棉	石棉含有廃棄物	がれき類(石棉含有産業廃棄物)	混合廃棄物(管理型)	安定型混合廃棄物	合 計	
産業廃棄物の搬出抑制に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		搬出量 (これまでに実施した取組)	1000.86t	496.235t	463.66t	1084.32t	4029.73t	0.02t	35.135t	6.7t	1.25t	1.7t	0.0052t	3.3t	35.15t	209.82t	7t	64.672t	7,439,5572
	計画	【目標】																	3,069,012
		搬出量 (今後実施する予定の取組)	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.5t	0.002t	0t	5.0t	100.0t	0.0t	40.0t	
産業廃棄物の分別に関する事項	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	集合処理	
	計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	できるだけ分別回収	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	計画	【目標】																	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	計画	【目標】																	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	現状	【前年度(令和5年度)実績】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	計画	【目標】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	【前年度(令和5年度)実績】																	
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		再生利用業者への処理委託量	1000.86t	496.2t	463.66t	1084.32t	4029.73t	0.020t	35.135t	6.70t	1.25t	1.70t	0.0052t	3.30t	35.15t	209.82t	7.00t	64.7t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		(これまでに実施した取組)	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	
	全処理委託量	【目標】																	
		全処理委託量	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.50t	0.002t	0t	5.0t	100.0t	0.0t	40.0t	
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		再生利用業者への処理委託量	700.0t	300.0t	300.0t	600.0t	1000.0t	0.0t	20.0t	3.0t	0.50t	0.50t	0.002t	0t	5.00t	100.00t	0.00t	40.00t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組)		引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	分別を徹底し、総量を減量する	分別を徹底し、総量を減量する	

会社方針 ： 引き続き、受注する工事の種別により廃棄物の種類と量が大幅に増減する局面は拭えないが、今後も前年度同様に減量・再生利用を図っていく所存です。

竹内建設株式会社